

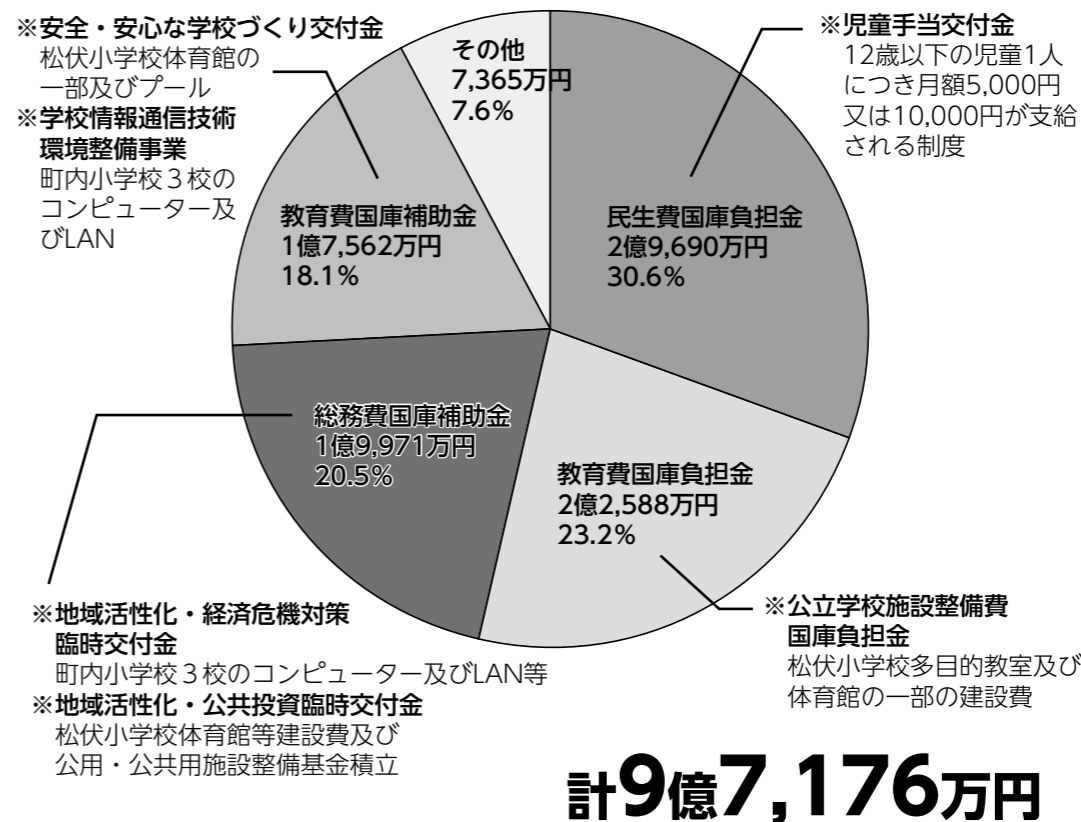
平成21年度 一般会計決算 (総額90億円強) 国庫補助金の経済効果を検証



9月定例議会

平成22年9月定例議会は9月1日から22日までの22日間会期で開催された。平成22年度一般会計補正予算など19議案の全てが可決された。

国から補助されたお金



主な質疑

山崎(善) 決算の中で一番大きいものは、松小体育館の工事である。国庫支出金、国庫負担金、教育費国庫補助金、小学校費負担金、公立学校施設整備費等の財源によって建設された。その内容と成果を示めせ。

堀越 固定資産税の滞納金額と滞納人数が4年前に比べて3倍に増えた理由は何ですか。

吉田俊一 補助事業があったため財源は大きくなったが20年度と比較して一般財源は改善されていない。東埼玉資源環境組合負担金のあり方を改善するのが急務であるにもかかわらず、問題意識を持っていない。

企画財政課長 建設工事費は約8億8千600万円、工事の管理業務委託料は約1千400万円。国庫補助金は公共投資臨時交付金を加えて、約4億1千万円、地方債は約4億2千万円、学校建設基金4千万円、町の持ち出しは1千800万円。又、地域活性化・公共投資臨時交付金約6千万円を使い、6千700万円を公用・公共用施設整備基金として積み立て、普通建設事業に充てる。

南田 施政方針の中で、第4次行政改革大綱の行財政健全化対策の進捗状況は。

新自民クラブ 堀越利雄 国庫負担金などをうまく引き出して事業執行している。町道7号線の工事が完了、水路台帳の整備、法定外公共物実地調査業務ができたことなど、大きなものでは松小体育館が完成したことは評価する。

高橋 不用額が前年度比6.2%増の理由は。

企画財政課長 率で14%の増だが、年度から年度への繰り越し事業が多い。

町民クラブ 堀越利雄 松小体育館の完成や7号線の整備完了、放課後児童保育施設の設置など、努力が見られる。

企画財政課長 経費の節減、入札の減額。職員員の努力である。

吉田 歳入歳出の決算の差額が大きくなった内容は。

町民クラブ 新自民クラブ5名、山崎(善)・山崎(正)・莊子・渡辺・飯島、新政クラブ、高橋・佐藤・福井

採択の結果

賛成

新自民クラブ5名
山崎(善)・山崎(正)・莊子・渡辺・飯島
新政クラブ
高橋・佐藤・福井

反対2人

公明党
南田・佐々木
日本共産党
吉田・広沢